

Working Time 布施さんの1日

5:50	起床
6:50	出社
7:30	朝礼後、現場へ移動して伐倒作業
12:00	昼休み
13:00	伐倒作業
16:30	会社へ戻る～退社
23:00	就寝

自然の中で気持ち良く 7:30
仕事をスタート



自然が大好きな布施さん。「朝起きてあまり気分が良くない日でも、現場に着いて山の中に入っていくと気持ちがすっきりする感じがします。鳥の音が聴こえるのも清々しいです」

午前中の仕事を 12:00
終えてほっと一息



山を降りて昼休憩を過ごす車に向かう途中は「疲れたな。いろいろな失敗しちゃったなとか考えています」。昼休みはお弁当を食べてからゆっくり寝て、午後の仕事に備えます

Private Time

布施さんのちょっとプライベートコーナー



大好きな
新日本プロレスの
Tシャツです

悪役レスラー好きで
一番好きな選手は
新潟市出身の
高橋裕二郎です



ときには最初に倒す方向を見極めることが大事。狙った方向に確実に倒すようにと思っっているのですが、今は思うようにいきません。まだまだです。だからこそ思った方向に倒せたときはとてもうれしいですね。



——苦勞していることは。現場は斜面が多く、雨の日は滑りやすくなるし、視界もぼやけるので大変です。いつものように体を動かかせないし、状況も判断しにくくなるので「ミスしないように気をつけよう」と思っています

す。でも雨で大変だから仕事がイヤだと思っただけではないですよ。——今後の目標は。先輩たちがやさしい人ばかりで、仕事ぶりも本当にカッコいいんです！まだまだ追い付くなんてとんでもない状態ですが、少しでも近づけたらと思っています。教えてもらっていることを早く覚えて、一人前になりたいです。木のことももっと勉強したいし、重機にも興味があります。山での仕事が好きなので何でもやってみたいです。

木を伐る作業にもだんだん慣れてきたが、今後の課題は狙った方向に確実に倒すことだ。「最初に木を伐るときは角度が重要なので毎回、気をつけているつもりですが、なかなか思った方向に倒すことができません」



——林業に興味を持ったきっかけは。高校3年生の就活時にやりたい仕事がなく悩んでいたら、先生から林業の仕事体験を勧められたんです。体験で実際にチェーンソーを使って木を伐らせてもらったのが楽しくて「もっと木を伐りたい！」と、夢中になりました。——現場で木を伐るようになったのはいつからですか。6月に「緑の雇用」でチェーンソーの免許を取得してからです。4月は事務の手伝いや研修で、5月から現場に行くようになって草刈りがメインで「早く木が伐りたい」とずっと思っていました（笑）。最初は細い木からで、今日の

ような大きい木を伐らせてもらえるようになったのは最近です。やっぱり大きい木を伐るほうが面白いんです。——今はどんな仕事をしていますか。伐倒が中心です。慣れてくると「楽しい」だけでなく、自分のやり方の問題も見えてきて、最初のように「楽しい」だけではなくなってきました。木を伐る



先輩たちがとてもカッコいい！
近づけるようがんばりたいです

ゆきぐくに森林組合
布施 彪
Fuse Hyo



2000年、十日町市松代生まれ
十日町市在住(18歳)
林業経験9ヶ月

林業マン INTERVIEW

